

第144回 技術懇談会の講演記録

[1] 日時・場所 2024年12月2日(月) 13:30~16:00 オンライン (Zoom) により実施

参加者人数 43名
見逃し配信 11名

[2] 講演テーマおよび講演の記録

演題 「人新世に考える」 13:30~14:10
(質疑応答を含む)

講師 中安 一雄 氏 SCE・Net 会員 (環境研究会)

要旨 人新世という言葉が聞かれるようになった。この言葉は人間の活動が地球に大きな影響を与えているという認識から出てきた。振り返れば、地球規模で考えることは「宇宙船地球号」の発想から始まった。それ以来60年の年月が過ぎたが、地球規模の課題が議論されても解決の見通しのつかないものがある。これまでの流れを振り返り、地球や社会の現実をみつめ、発想を転換して事態打開の道を考え続けたい。

(本件は、環境研究会で話題提供したものを改定したものです。)

演題 「カーボンニュートラル実現に向けてのCO₂ 地中貯留技術の社会実装」 14:10~15:30

(質疑応答を含む)

講師 薛 自求 氏 ((公財)地球環境産業技術研究機構) CO₂貯留研究グループ、グループリーダー

要旨 今年6月に9件の先進的CCS事業(国内:5件、海外:4件)が採択された。先進的事業はCCSの普及と拡大に向けて、事業の大規模化とコスト削減に取り組むモデル性のある事業と位置付けられている。CCS事業は石油天然ガス開発で培ってきた技術やノウハウに加えて、これまでに開発してきたCCS基盤技術も実用化される。本講演ではカーボンニュートラル実現に向けてのCO₂地中貯留技術の役割およびその社会実装に向けてのチャレンジを解説した。

[3] 懇親会 15:30~16:00

講演会終了後、講師の方を交えて、情報交換を実施した。

(記 山本一己)